

—進路部通信—

新宿通信

No. 66

令和3年6月25日
東京都立新宿高等学校
進路指導部

- 「進路のしおり」発刊
- オープンキャンパス情報
- 期末考查迫る

「新宿通信に寄せて」

川口 直弘

新宿高校のみなさん、こんにちは。2年生の世界史を担当している川口です。毎週水曜日の朝に西門で見かける身長高めの男性といえば覚えてくれている人もいるでしょうか。進路通信に寄稿するにあたり、全学年に共通して伝えたい3つの話を選びました。

はじめに、IB校のカリキュラムで必修となっているTOK (Theory of Knowledge) のテキストから、ウィキペディア共同創立者の言葉を引用します。“中世の時代は、教会によって教えられたことが、人々にとっての知識でした。その後、宗教改革が起り、印刷機が発明されると、国の検閲官が人々の知識を規定しました。『百科全書』に思想を集大成した啓蒙思想家たちが知識を伝えた時代もあります。そして時代が下ると出版社、さらに最近では、商業的な放送メディアが、その役割を担いました。いずれの場合も、知識は、専門的な知見を持つ少数のエリート集団によって教えられるものだったのです。しかし、インターネットの出現により、今では、インターネットへのアクセスさえあれば誰でも、自分の知識を投稿したり、意見を述べたり、他の人々のコンテンツを評価したりできます。これはまさに「知識の新しい政治力学」です。そして、それは決定的に平等主義です。だからこそ、批判的思考が必要なのです。あなたが知らない、聞いたこともない人々のツイートや文章や動画を、あなたはどのように評価しますか。記憶力より思考力が重要な時代です。

次に、ペップトークを紹介します。バスケットボールのコーチングの研修で学んだ内容です。ペップトークとは、試合前にコーチが選手に伝えるショートスピーチで、短く・わかりやすく・魂を揺さぶるような言葉が望ましいとされています。その反対の悪い例が、長く・わかりにくく・やる気を奪うような言葉です。ペップトークは、理解し、練習すれば誰でもできるようになります。ポイントは望ましい行動を言葉にすることです。たとえば9回裏2アウト満塁、2点差で負けている場面。「ボール球には手を絶対出すなよ！」そういう言葉をかけると、人間の脳というのはグーグルのイメージ検索と似ていて、ボール球に手を出して三振するイメージが浮かんでしまうそうです。私もバスケの大事な試合で同じミスをしました。前半の残り20秒、1点差リードでディフェンスをしている状況。「ファールだけはだめだぞ！」と声をかけたとたん、ファールしてフリースローが与えられ、逆転されてしまいました。「ストライク(狙い球)を思い切り振っていこう」「手を真上に挙げてディフェンスをしよう」など、ポジティブなイメージを想起させる言葉に言い換えるちょっとした工夫で、ペップトークに生まれ変わります。「トイレを汚さないでください。」「次赤点を取ったら3日間晩御飯抜きね。」「ゲームばっかりやっているから模試の成績が下がったね。」「キャプテンのお前がミスしなければ勝てたのに。」これらの言葉を私なりに変換すると、「トイレをきれいにお使いいただきありがとうございます。」「少し疲れているように見えたから今晚は好物のコロッケにしたよ。」「勉強して知識が増えた分、選択肢の迷いが増えてきたのかもね。」「お前が部長でなければここまで勝ち上がることはできなかつた。お前がいてくれてよかったです。」もしペップトークに恵まれないと、気が沈みそうになったとき、自分自身にペップトークを与えてあげてください。セルフペップトークを推奨します。

最後に、27年間のキャリアを持つ魚釣りについて熱く語りたいと思いましたが紙面の都合によりまたの機会にいたします。最後までお読みください、ありがとうございました。

○「進路のしおり」発刊

2021年度用の「進路のしおり」が出来上がりました。目次は以下のとおりです。

目 次

- 1 進路の決め方
- 2 大学入試のしくみ
- 3 一般入試日程
- 4 大学入試共通テスト出題教科・
　　科目の出題方法等
- 5 国公立大共通テスト英語リーディング・
　　リスニング配点比
- 6 英語外部試験について
- 7 各資格・検定試験についてと
　　CEFRとの対照表
- 8 2020年度 各学年の進路指導計画
- 9 文部科学省所管以外の学校教育について
- 10 調査書について知ろう
- 11 学校推薦型入試
- 12 進学統計資料
- 13 合格体験記
- 14 新宿高校教職員・保護者が薦める新書100冊
- 15 74～76回生 教育課程編成表

すべての学年にとって知っておくべき内容が凝縮されて載っています。1年間大切にし、折に触れて読み返しましょう。

1年生は「1 進路の決め方」「2 大学入試のしくみ」をしっかりと読んで、進路の基本を学んでください。また「10 調査書について知ろう」を読むと、1年次からの成績がいかに大事かよく分かります。高校受験では、中学3年生の成績が重要でしたが、大学受験では高校1年生からの成績がすべて調査書に反映します。あとで頑張っても取り返せないものがあるということを肝に銘じておきましょう。

2年生も「2 大学入試のしくみ」を読み、および「3 一般入試日程」を見て来年度に備えましょう。

3年生は、しおりの隅から隅までを熟読して、受験に向けた心構えを作ってください。

中でも「13 合格体験記」は、新宿高校で学んだ先輩たちの貴重な体験が記されています。誰もが、愛する母校の後輩たちのためにと思って、いいことも悪いことも包み隠さずに話してくれています。そんな思いをしっかりと受けとめ、皆さんの糧としてください。3月の合格速報会で話してくれた先輩のものもあります。

○ オープンキャンパス情報

ここ数年、大学の入試科目に変更が多く見られます。昨年と今年の受験科目が同じとは限りません。そのためにも、オープンキャンパスに参加して情報を集めましょう。今年度はオンライン開催の大学もあります。大学は工夫を凝らして情報発信しています。早いところではすでに実施していますが、多くの大学は夏休みが中心です。大学によっては事前予約が必要なところもあります。

既に申し込みが始まっている大学もありますので、参加希望者はHPで確認して申し込みをしてください。すぐに定員が埋まってしまう大学もあるようです。

首都圏の主な大学のオープンキャンパス情報は教室に掲示しております。参考にしてください。

○ 一日医師体験・看護体験

医療・看護系への進学を考えている人は、夏休みを利用して「1日医師体験」「1日看護体験」などに参加するといいでしょう。医療分野の大学入試にはほぼ面接試験があり、そこで体験参加の有無を聞かれることもあります。進路室前の廊下に「医師体験」「看護体験」の案内ポスターが貼ってありますので、手順したがって申し込みをしてください。わからないことがあれば進路室に問い合わせてください。

○ 1年スタディサポートの返却

5月に実施した1年生のスタディサポートが返却されました。年を追うごとに学力上位層が増えており、最上位層のS1段階の生徒は57名。ベネッセによると、これは「東大や医学部医学科を狙える学力層」なのだそうです。1年生全体として幸先のよいスタートが切れたということですが、このレベルを

さらに増やしていくことが今後の課題になってきます。

その際に重要なのは学習習慣がどうなっているかということです。中間試験やスタディサポートでは学習時間が少ないという報告があります。高校生になって既に2ヶ月半、部活動にも入り、日々の生活パターンが出来上がってくるころです。予習はできているか、復習はどうか。学習時間は「学年+2時間」を目安にするという話もありました。1年生は自分のこの一週間を振り返り、修正すべき部分があれば早めに直しましょう。

○ 前期期末考査迫る 6/30・7/1~6

つい先日、中間考査が終わったばかりですが、3年生は6月30日から、1、2年生は7月1日から期末考査が始まります。

前回の中間考査で悔しい思いをした人は、今日から計画を立てて復習をしましょう。定期考査は試験範囲が狭いので、勉強した分だけ必ず結果ができます。その積み重ねが皆さんの実力になります。

特に3年生は、前回の中間考査と今度の期末考査で現段階の評定が出ます。そういう意味でも重要な考査です。しっかり取り組みましょう。戸山戦を終えて部活引退となった人も多いと思います。ここからが勝負。去年の先輩たちもここから頑張っていました。

また、考査の翌日の7日は各学年とも実力テストです。こちらも頑張りましょう。

○ 東工大出張講義

7月6日(火)、期末考査最終日の午後に東京工業大学の先生による出張講義があります。詳細は以下の通りです。

日時 7月6日(火) 13:15~14:45

場所 体育館

講師 若林 憲一(ワカバヤシ ケンイチ)先生
東京工業大学科学技術創成研究院 准教授

内容 「微生物が好きな方向に泳ぐしくみ」

2年生が対象ですが、東工大の生命理工学院に興味のある3年生、1年生は教室に掲示される案内を確認してください。

【今後の予定】

○ 指定校・総合選抜型選抜希望者説明会 6/29火
12時10分～ 視聴覚室

(3年生で「推薦」と名の付く入試を考えている生徒は必ず参加すること。)

※指定校推薦の募集は2回のみです。

○ 期末考査 6/30水～7/6火(3年)
7/1木～6火(1、2年)

○ 実力テスト 7/7水(3年は7/8も)
(1、2年進研模試、3年駿台マーク)

○ 東京工業大学模擬講義 7/6火 午後

○ 7/16金 終業式

○ 7/17土 夏期休業始

「これって、波乱万丈？」

世田谷区副区長

宮崎 健二（29回）

この原稿依頼については、お受けするかどうかを迷いました。過去の寄稿者が蒼々たる方々であり、読者に申し訳ない気がします。寄稿依頼の先輩からは、「波乱万丈」な姿を示して欲しいとのこと。確かに、今どきの地方公務員が、どのような仕事ぶりなのか、知られていない気がするので、後進の方が続出されることを期待して、お引き受けしました。

地方の公立大学を卒業後、「特別区試験」に合格し、世田谷区に就職しましたが、皆さんが思っている、所謂、住民票の発行、課税納税など役所の仕事にはほとんど、従事していません。1年目から、職員の交通事故を含む争訟関係の仕事に就き、以降、人事、財政畠の分野が長く、今に至ります。就職1年目から体力に物を言わせて徹夜作業も非常に多かった気がします。

先輩をはじめ、同輩、後輩の方々にも公務員の道を極めている方もいると思いますが、多分、こうも日々の変化が激しいという思いは一緒ではないでしょうか。丁度、私たちの年代は、バブル崩壊、リーマンショックの経験、自然災害、とくに阪神淡路、東日本震災発生時の体験（帰宅困難者対応、福島からの避難者受け入れ）、今は、新型コロナウイルス感染症対策の日々に加え、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の仕事に追われています。

考えさせられることは、過去の経験で培った「マニュアル」だけでは、もはや急転直下の難局の突破は困難だということ。皆さんに知ってほしいことは、自分で考え、自身で答えを見つけ出す力が求められており、これは、決して公務員だけでなく、どの世界に身を置いているとしても、共通していることだと思います。自分の意見をしっかりと持ち、探求心をもち続け、自分のキャラクターを自身が理解することが、変化する世の中についていく唯一の方法だと確信しています。

将来を担うさんは、それぞれの進路に向かっていくことでしょう。勿論、学校での学習だけでなく、さまざまな活動を通じて学ぶことも多いと思います。どのような道に進むにしろ、好きなこと、興味の湧くことを大事にすることで、必ず活かされてくるときがあると思います。

これから時代を切り拓いていくことは、どんな境遇になろうとも、勇気を持って乗り越えてください。そして、自分の力を信じて飛躍してください。